

利用規則

**HOTEL GRAND CITY**

Usage rules

## 利用規則

当ホテルをご利用下さるお客様は、ホテルの公共性とお客様の安全を維持するために、宿泊約款第10条の規定に基づき下記の規則をお守り下さい。この規則をお守りいただけないときは、宿泊約款第7条の規定により、宿泊契約を解除させて頂くことがあります。

1. 客室内や廊下等で暖房用、炊事用の火及びプレス用のアイロン等をご使用にならないで下さい。
2. ベッドの中その他火災が発生しやすい場所で、喫煙をなさらないで下さい。
3. 客室に訪問客をお招きになったり、客室内の設備、物品などを使用させたりなさらないで下さい。
4. ホテル内に次のものをお持ち込みにならないで下さい。
  - (イ) 動物、鳥類
  - (ロ) 著しく悪臭を発するもの
  - (ハ) 発火または引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある薬品
  - (ニ) 許可証のない銃砲、刀剣類
  - (ホ) 著しく多量の物品
5. ホテル内で、賭博、風紀を乱すような行為または他のお客様に迷惑を及ぼすような行動はなさらないで下さい。
6. 当ホテルの許可なく、客室やロビーを事務室がわりなどにご使用にならないで下さい。
7. ホテル内で他のお客様に広告物を配布するような行為をなさらないで下さい。
8. 当ホテルの許可なく、客室内の設備を変更するようなことをなさらないで下さい。
9. 館内の諸設備および諸物品を、移動、加工、持ち出し、またはその目的以外の用途に使用なさらないで下さい。
10. 緊急事態またはやむを得ない事情のない限り、客用以外の施設にお入りにならないで下さい。
  11. 廊下やロビーなどに所持品を放置なさらないで下さい。
  12. ホテル以外の施設から飲食物の出前をお取りにならないで下さい。
  13. 衛生管理上必要な場合、客室への立ち入りをさせて頂く場合がございます。清掃は毎日お伺いさせていただきます。また、清掃をご希望されない連泊のお客様につきましても原則として少なくとも3日に一度はお願いしております。

14. お預かり品の保管期限は、特にご指示のない限り、次のとおりとさせていただきます。
  - (イ) フロント及びクロークルーム 3か月
  - (ロ) ランドリーにご依頼の洗濯物 3か月
15. ホテル内でのご購入物代、チケット代、タクシー代、郵送料等のお立て替えは、お断りさせていただきます。

## USE REGULATIONS

To maintain the character and service of this hotel as a licensed public facility and to ensure the overall safety of our Guests, the Management hereby requests that the Guests adhere to the following Regulations under Article 10 of the Terms and Conditions of the Accommodation Contract.

Guests are kindly requested to refrain from:

1. Using open fire for cooking and warmth and ironing in your room or in the hallway ;
2. Smoking in bed and other places liable to casuse a fire ;
3. Inviting visitors to your room and letting them use the fixtures and equipment of the room ;
4. Bringing the following commodities/articles to the hotel :
  - A) Animals and birds,
  - B) Articles having an offensive oder,
  - C) Ignitable or infammable powder and oil , and dangerous chemicals,
  - D) Illegal fire arms and swords,
  - E) Any objects of a large quantity.
5. Gambling and acts of corruption and disturbance to other guests in the hotel ;
6. Using your room and / or lobby as an office without prior consent of the Management ;
7. Distributing advertising materials to other guests in the hotel ;
8. Altering fixtures in your room without the permission of the Management ;
9. Removing, altering or taking out facilities, equipment and commodities of the hotel and / or using them for purposes other than intended ;
10. Entering the "Employee Only" facilities other than guest rooms except in an emergency ;
11. Leaving your belongings in the hallway or in the lobby ;
12. Ordering meals or beverages from establishments outside of the hotel ;
13. In order to maintain proper cleanliness, hotel personnel may enter the Guestrooms if necessary. Rooms are cleaned daily. If you will be staying with us more than one day and don't want your room to be cleaned, our policy is to come in and clean the room at least once every three days. This is necessary for hygiene and security reasons. Thank you for your cooperation.
14. Unclaimed Guest belongings will be held in our custody for the following period unless otherwise specified :
  - A) Reception and Cloak Room : 3 months.
  - B) Laundry : 3 months.
15. No payment will be made on behalf of the Guest for such expenses as shopping at the hotel, tickets, taxi fares, postage, or other similar charges.

## 宿泊約款

### (適用範囲)

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款に定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2.当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

### (宿泊契約の申込み)

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
  - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
  - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2.宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとし処理します。

### (宿泊契約の成立等)

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2.前項も規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3.申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4.第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者その他反社会的勢力であるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
- (5) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (7) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (9) 東京都旅館業法施行条例（第63号）第5条の規定する場合に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表

第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

- 3.当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後10時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当ホテルの契約解除権）

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊しようとする者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者その他反社会的勢力であるとき。
  - (2) 宿泊しようとする者が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
  - (3) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
  - (4) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (5) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (6) 東京都旅館業法施行条例（第63号）第5条の規定する場合に該当するとき。
  - (7) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 2.当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊の登録）

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻

(4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

- 第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合にはフロントに掲示する追加料金を申し受けます。

(利用規則の遵守)

- 第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

- 第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

(1) フロント・キャッシャー等サービス時間

イ. 門限 AM 1:00

ロ. フロントサービス 24時間

(2) 飲食等(施設) サービス時間

イ. 朝食 AM 6:30～AM10:00(ラストオーダー AM 9:30)

ロ. 昼食 AM 11:30～PM2:30(ラストオーダー PM 2:00)

(日・祝日は休業)

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

## (料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は宿泊券、クレジットカードにより、チェックインの際フロントにおいて行っていただきます。

3.当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

## (当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2.当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

## (契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

## (寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行なわなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。



2. 宿泊客が、当ホテルにお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損などの損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、5万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車輛のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車輛の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1

宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）

（朝・夕食又は夕食を伴わない宿泊施設に適用）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料(室料(又は室料+朝食料)) ② サービス料 ①に含む
	追加料金	③ 飲食料及びその他の利用料金 ④ サービス料 ③に含む
	税金	イ 消費税

備考1 基本宿泊料は、フロントに指示する料金表によります。

#### 別表第2 違約金 (第6条第2項関係)

契約解除の通知を受けた日 契約申込人数		不	当	前	9	20
		泊	日	日	日	日
一般	14名まで	100%	80%	20%		
団体	15名～99名まで	100%	80%	20%	20%	
	100名以上	100%	80%	20%	20%	10%

(注) 1.%は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2.契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。

3.団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

(支配する言語)

第19条 本約款は日本語と英語で作成されていますが、日本文と英文の間に不一致又は相違があるときは、すべての日本文によるものとします。

## TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

### (Scope of Application)

- Article 1. Contracts for Accommodation and related agreement to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and / or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

### (Application for Accommodation Contracts)

- Article 2. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1) Name of the Guest (s) ;
  - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
  - (3) Accommodation charges (based, in principle, on the Basic Accommodation charges listed in the Attached Table No.1.) ; and
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest request, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

### (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

- Article 3. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an Accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
  3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
  4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

### (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

- Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring the Accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5. The Hotel may not accept the conclusion of Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for Accommodation does not conform with the provisions of these Terms and conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available ;
- (3) When the Guests are member of gangsters, member of any violent groups, or member of any antisocial groups.
- (4) When the Guests are member of gangsters or the guests are related to the any companies which are supported by gangsters.
- (5) When the Guest seeking Accommodation is deemed liable to conduct himself in a mannner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his Accommodation ;
- (6) When the Guest seeking Accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease ;
- (7) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his Accommodation;
- (8) When the Hotel is unable to provide Accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilies and / or other unavoidable causes ;
- (9) When the provisions of Paragraph 5, Article of Tokyo Metropolitan / Prefectural Ordinance No.63 are applicable.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying Hotel.

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment) , the Guest shall cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 10 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 7. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases :

- (1) When the Guests are member of gangsters, member of any violent groups, or member of any antisocial groups.
- (2) When the Guests are member of gangsters or the guests are related to the any companies which are supported by gangsters.
- (3) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease ;
- (4) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
- (5) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and / or other causes of force majeure;
- (6) When the provisions of Paragraph 5 , Article of Tokyo Metropolitan / Prefectural Ordinance No.63 are applicable;
- (7) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief

- to the fire fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulation stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).
2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

(Registration)

Article 8. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation.

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest (s) ;
  - (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan.
  - (3) Date and estimated time of departure ; and
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other Japanese currency, such as coupons from travel agency or credit cards, these credentials shall be shown in advance at time of the registration preceded Paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. to 10 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the prescribed in the same Paragraph. In the case, extra charges which are displayed in front desk shall be paid

(Observance of Use Regulations)

Article 10. The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11. The business hour of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest room and others.

- (1) Service hours of front desk, cashier's desk, etc.
    - (a) Closing time AM1:00
    - (b) Front service 24hours open
- Service hours (at facilities) for dining, drinking, etc.
- (a) Breakfast AM 6:30~AM10:00 (Last order AM 9:30)
  - (b) Lunch AM11:30~PM2:30 (Last order PM 2:00) (Close : Sunday & Holyday)
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as coupons from

travel agency or credit cards recognized by the Hotel at the front desk the front desk at the time of the arrival of the Guest.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

(Responsibility of Our Hotel)

Article 13. In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts or in breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage, unless the said damage has been caused due to a cause not attributable to us.

2. Our Hotel is covered by the Hotel liability insurance to cope with emergencies in the in case of fire, etc.

(Handling When the Hotel is unable to provide Contracted Rooms)

Article 14. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the Guest, except in case of the damage caused through intention or gross negligence on the part of the Hotel, the Hotel shall compensate the Guest with in the limit of 50,000yen.

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 16. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in regard to Parking)

Article 17. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

Calculation method for Accommodation. Charges, etc. for Hotels(for accommodation facilities which do not provide breakfast and dinner. or which do not provide dinner.)

(Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of article 12)

		Contents
Total Amount be paid by the Guest	Accommodation Charges	1. Basic Accommodation Charge(Room Charge) 2. Service Charge include 3. Taxes a. Consumption Tax
	Extra Charges	4. Meals & Drinks and other Expenses 5. Service Charge include 6. Taxes a. Consumption Tax

Remarks: 1. The Basic Accommodation Charges are displayed in front desk.

Attached Table No.2

Cancellation Charge for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date When Cancellation Contract is Notified	Contracted Number of Guests		
	Individual	Group	
	1 to 14	15 to 99	100 and more
No Show	100%	100%	100%
Accommodation Day	80%	80%	80%
1 Day Prior to Accommodation	20%	20%	20%
9 Day Prior to Accommodation		20%	20%
20 Day Prior to Accommodation			10%

Remarks: 1. The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charge.

- When the number of days contracted is shortened the cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the charge shall not be charged for the number of the persons equivalent to 10% of the number of the persons.  
booked as of 10 days prior to the occupancy(when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date)with fractions counted as a whole number.

(Governing Language)

Article 19. These provisions are written both in Japanese and English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these provisions, the Japanese version shall prevail in all respect.